

大型トラックの動力伝達装置のリコールについて

平成 26年12月11日

リコール届出番号3484

平成26年12月11日、UDトラックス株式会社は下記のリコールを国土交通大臣に届け出しました。対象車両をご愛用のお客様には、大変ご迷惑をおかけしまして誠に申し訳ございません。ご愛用車の措置につきましては、販売会社よりご連絡・ご相談をさせていただきますので、点検・修理（無料）をお受けいただきますよう、よろしくご依頼申し上げます。対象車両をご愛用のお客様には大変ご迷惑をおかけいたしましたことを、心よりお詫び申し上げます。

1. 不具合の状況

- 後輪2軸駆動トラックにおいて、後前軸と後後軸間のプロペラシャフトスプラインヨークを製造する際、熱処理後の検査が不適切なため、スプラインヨークのスリーブ部に亀裂が生じているものがあります。そのため、そのままの状態で使用を続けると、スリーブ部の亀裂が進行し、最悪の場合、プロペラシャフトが破損・脱落して、走行不能になるおそれがあります。

2. 改善の内容

- 全車両、当該プロペラシャフトを良品と交換します。

3. 対象車両

- UDトラックス株式会社が製作している大型 後輪2軸駆動トラックが対象です。
- 型式、車台番号の範囲、製作期間、対象台数は次の通りです。

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の 範囲及び製作期間	リコール対 象車の台数	備考
UD トラック ス	QKG- CG5YA	「クオン」	CG5YA-10027 平成26年5月7日	1	
	QKG- CG5YE		CG5YE-10014 平成26年4月9日	1	
	QDG- CG5ZA QKG- CG5ZA QKG- CG5ZA改		CG5ZA-12550 ~ CG5ZA- 20001 平成26年3月6日 ~ 平成26年 5月12日	198	
	QKG- CG5ZE		CG5ZE-10272 ~ CG5ZE- 10286 平成26年3月13日 ~ 平成26 年5月9日	15	
	QKG- CG5ZL		CG5ZL-10157 ~ CG5ZL- 10168 平成26年3月11日 ~ 平成26 年5月8日	12	
	QKG- CG5ZM		CG5ZM-10049 ~ CG5ZM- 10054 平成26年3月7日 ~ 平成26年 4月18日	4	
	QKG- CW5XL		CW5XL-11884 ~ CW5XL- 12179 平成26年3月6日 ~ 平成26年 5月12日	278	
	QKG- CW5YL QKG- CW5YL改		CW5YL-10601 ~ CW5YL- 10646 平成26年3月11日 ~ 平成26 年5月10日	41	
	QKG- CW5ZA		CW5ZA-10177 ~ CW5ZA- 10181	5	

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
			平成26年3月12日～平成26年4月10日		
	QKG-CW5ZL		CW5ZL-10346～CW5ZL-10381 平成26年3月11日～平成26年5月10日	30	
	QDG-CX5YA QKG-CX5YA		CX5YA-10070～CX5YA-20024 平成26年3月15日～平成26年3月24日	5	
	QKG-CX5YL		CX5YL-10036 平成26年3月25日	1	
	QDG-CZ5YL QDG-CZ5YL改		CZ5YL-20194～CZ5YL-20283 平成26年3月10日～平成26年5月21日	90	
	QDG-PW39L QDG-PW39L改	「コンドル」	PW39L-20318～PW39L-30012 平成26年3月6日～平成26年5月12日	30	
	(計20型式)	(計2車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成26年3月6日～平成26年5月21日	(計711台)	

交換修理用部品として出荷し、組みつけられた車両が特定できないもの

対象製品名	部品番号	対象部品の出荷期間	対象数	備考
プロペラシャフト	37042-90001	平成26年4月19日～平成26年4月22日	2	UDトラックス 「クオン」、 「コンドル」
		合計	(計2個)	

<ご注意>

- 対象車両の含まれる車台番号の範囲には、対象とならない車両もありますので、詳しくは最寄りのUDトラックス販売会社にお問い合わせください。
- 対象車両の製作期間はご購入の時期とは異なります。

【お問い合わせ先】

UDトラックス株式会社 お客様相談室

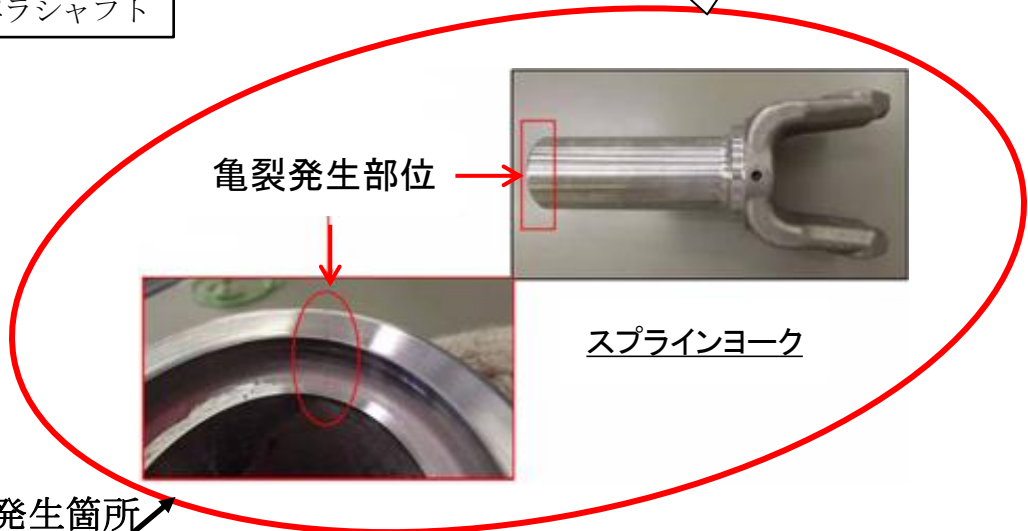
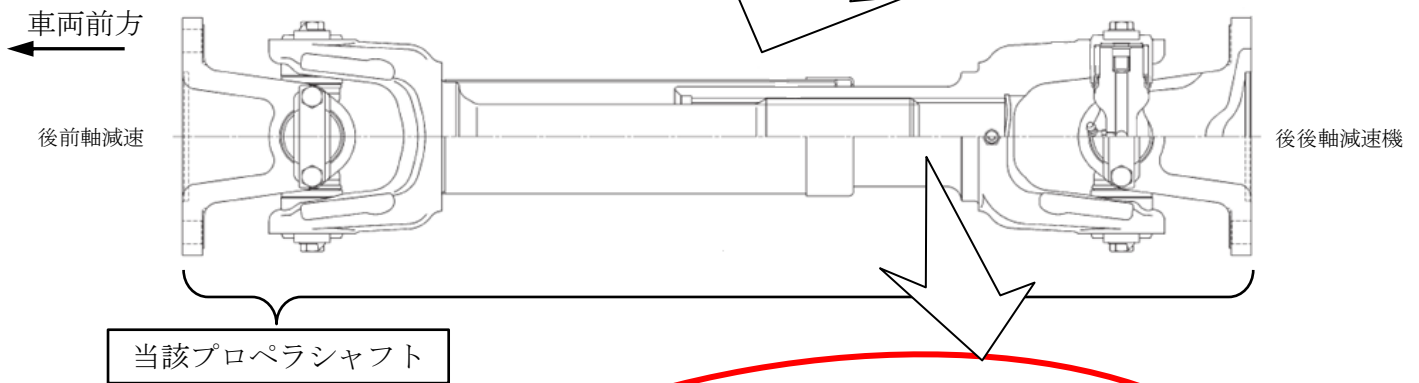
〒362-8523 埼玉県上尾市大字壺丁目1番地

フリーダイヤル 0120-67-2301

オープン時間 月曜日～金曜日 9:00～12:00、13:00～17:00

但し、会社休業日を除きます。

改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

後輪2軸駆動トラックにおいて、後前軸と後後軸間のプロペラシャフトスプラインヨークを製造する際、熱処理後の検査が不適切なため、スプラインヨークのスリーブ部に亀裂が生じているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、スリーブ部の亀裂が進行し、最悪の場合、プロペラシャフトが破損・脱落して、走行不能になるおそれがある。

改善の内容
全車両、当該プロペラシャフトを良品と交換する。

注： 内は、交換部品を示す。
識別：フランジ部に、黄色ペイントを塗布する。